



月一

新潟市立月潟小学校 学校だより 第3号 令和6年5月29日



やってみなければ

校長 逢坂 一郎

先日、雨の心配が全くなく爽やかな晴天の中で運動会を行いました。来賓や保護者の皆様から多くご来校いただき、子どもたちへ大きな声援を送っていただきましたこと、感謝申し上げます。開会式の挨拶で私は子どもたちに、「これまでの準備や練習など過程が大事であり、運動会でも今までの練習を生かしてできることを精一杯頑張ってもらいたい。」と話しました。競技や応援では子どもたち一人一人が全力で頑張っている姿を見ることができてとてもうれしく思いました。中学年、高学年リレーでは最後まで結果がわからない接戦となり、会場を大いに盛り上げました。私もレースを見ていてとても感動しました。運動会前の練習で、中学年、高学年のリレー練習を見る機会がありましたが、その時の結果は当日の結果と違っていました。勝負は時の運といいますが、それぞれのチームがチームの良さを最大限に生かして、目標を達成しようと作戦を立て、準備・練習した成果が当日の結果となったのだと思います。また、最後まで、赤白全員を引っ張ってくれた応援団長はじめとする応援団、係の仕事に責任をもって遂行してくれた高学年、ボランティアとして足りないところを補助してくれた中学生の皆さん。多くの人の頑張りによって運動会が無事終了いたしました。本当にありがとうございました。

運動会は終わりましたが、運動会で学んだことをこれからの生活に生かしてほしいと思います。その一つが、「トライアンドエラー (trial and error)」です。今回のリレーのように目標達成に向けて、一度だめでも創意工夫を凝らし改善しながら取り組み続けることで結果が出る場合があります。学校は、様々なことを学ぶ場です。成功体験はもちろん大切ですが、成功だけ続けることは不可能に近く、皆失敗するのです。ただ、その失敗から学ぶことも多くあります。なぜ、失敗したのか考え原因を取り除いたり、どうすればうまくいくか様々な視点から考え直し、工夫・改善を行ったりすることで成功に近づきます。また、一度の失敗でもあきらめず何度でも挑戦していく粘り強さも育成されます。これからの時代は、何が正解かもわからず、その時々で最善を尽くし問題解決しなければいけないことも出てきます。最初はうまくいかないこともあるでしょう。だからこそ問題解決に向けて今自分のできる様々なことに挑戦し、工夫・改善していく力が重要となるのです。そんな力を育成するために、失敗しても前を向き、互いに励まし合うなど、子どもたちが失敗を恐れず、挑戦できる環境を学校全体で整備していきたいと思っております。

<今年度の結果>

- 優勝…白組 ○準優勝…赤組 ○応援賞…白組
○全員リレー ・低学年…赤組赤チーム ・中学年…白組青チーム ・高学年…白組青チーム

<運動会の様子（団体の活動）>



応援合戦（赤組）



応援合戦（白組）



ダンシング玉入れ



引いて！走って！お助け綱引き



運べ！転がせ！大玉転がし2024



低学年リレー



中学年リレー



高学年リレー

<運動会を振り返って>

赤組応援団長 6年 富田 颯真

私が今年の運動会で心に残ったことは2つあります。1つ目は、他の学年が競技をしているときに自分から進んで声を掛けられたことです。自分の指示でみんなが元気いっぱい応援してくれてうれしかったです。2つ目は応援団と団結できたことです。みんなと力を合わせて最後まで応援をやり切ることができました。

白組応援団長 6年 高橋 昂也

私がこの運動会で心に残ったことは2つあります。1つ目は応援です。練習では何度か間違えたりして自信がもてない時もあったけど、本番では、自分の全力を出して応援することができました。2つ目は、周りの支えです。応援団の仲間が、様々なところで支えてくれたから、役割を果たさることができました。